

(別紙4(2))

事業所名グループホーム輪楽笑Ⅱ

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 10 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地震及び火災を想定した避難訓練の実施	いつ起こるかわからない地震に対し、緊急時には利用者を速やかに安全な場所へ避難させること。	日頃の火災通報訓練と、地震を想定した訓練を実施。地震では一時的に利用者を机の下に避難させ、安全が確認できたと想定し建物外部の安全な場所へ移動する。	実施済み及び1年間
2	13	職員の各種研修の実施	介護職員としては勿論のこと、福祉施設の職員としての資質向上と、利用者家族から信頼される職員、施設となるよう努める事。	毎月全体会議で、介護等に対する問題点などを話し合い、知識ある職員の助言を受け、問題の改善に繋げる。また、外部研修出席者は後日報告を兼ねて研修とする。	12ヶ月(通年)
3	2	地域との関わりを深める。	周辺に住宅が多くなり、職員や利用者が挨拶を交わす機会が増えた。ホームを知っていただき、いつまでも愛着をもって貰える施設を目指す。	盆踊りの鑑賞、年2回のクリーン作戦(清掃)への参加をはじめ、毎月の「元気の出る会」に出席し、利用者が地元の方々に親しまれるようになる。	(前年同様)
4	13	応急措置及び防災研修の実施(29年度よりⅠ・Ⅱ共同で実施)	消防署職員の指導により応急措置講習を受講、地震を中心とした防災関係では市役所へ防災関係資料をもとに職員に認識させる。	救急担当の消防職員の指導をもとに応急措置を学び、地震時の対応は市の「地震災害」の資料を分かりやすく説明し、いずれももしもの時に対応できるようにする。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

|

|